

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	特別活動論					授業形態	授業形態	講義			
科目コード	410910	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○		○
担当教員名	堂 蘭 敬子							ICT活 用	○		○
授業概要	<p>特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど児童の成長に欠かせない教育活動です。しかし、近年、全国的にベテラン教師の大量退職に伴う若手教員の増加傾向が見られ、特別活動には教科書のような基礎的な資料等がないことなどから、先輩教員からの指導技術の継承が円滑に行われなかったり、特別活動の教育的意義が十分に理解されなかったり、するなど、特別活動の時間が必ずしも効果的に活用されていないという課題が教育現場では多く見られる。そこで、本授業では、学習指導要領「特別活動編」を基に学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の各内容について、指導のポイントや留意点などの実践事例を提示しながら理解を深めていく。また、即戦力として教育現場で特別活動の授業ができるようにするために、学級活動の学習指導案を作成し、その後模擬授業、授業研究会を実施し、学校現場で行われている一連の授業づくりを体験する。</p>										
関連する科目	教職に関する科目（道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目）										
授業の進め方と方法	<p>講義、グループ活動、討議、模擬授業、事後研究会を中心に展開する。児童と教員の両方の視点から特別活動に関する考えを深めさせるために、毎回の授業において、子どもの立場になって学級活動を理解し、授業の構成員としての参画意識を味わわせる。ICTの活用として、パワーポイントや動画を多用し、講義だけに終わることなく、視覚からも理解できるようにする。そして、朝の活動でよく行われる「1分間スピーチ」ゲームの要素を取り入れ、学級活動で必要となる「合意形成」を学ぶことができる「ゲーミフィケーション」を取り入れる。また、グループごとの模擬授業（学級会の話し合い活動、学級活動）では、グループ全員で話し合い、課題を設定し、練り上げ、指導案を仕上げる。その後、代表者数名が授業者、残りの学生が子ども役となって授業を進めるなどの形式で模擬授業を行うことで実践力をつけさせることで、教師としての即戦力となることできる。特に、実務経験として小学校教員の経験を生かして、学校現場での状況なども講義の途中に含め、教師になった際に生かせるようにする。</p>										
授業計画【第1回】	オリエンテーション 授業の進め方の説明とグループ作りとゲーミフィケーション 特別活動の特質と教育的意義										
授業計画【第2回】	特別活動の目標・内容・変遷、育みたい力										
授業計画【第3回】	特別活動に期待されること 特別活動の時数、課題をさぐる										
授業計画【第4回】	学級活動の目標・内容、育てたい資質・能力 学級会の流れを動画で確認する。										
授業計画【第5回】	学級会をやってみよう① 議題収集・議題決定・計画委員会を行う。										
授業計画【第6回】	学級会をやってみよう② 学級活動（話し合い活動）学習指導案指導案の作成・提出										
授業計画【第7回】	学級会をやってみよう③ 模擬授業（話し合い活動1, 2班）										
授業計画【第8回】	学級会をやってみよう④ 模擬授業（話し合い活動3, 4班）										
授業計画【第9回】	学級活動（2）の内容 （生活上の課題）をどのように授業にするのか。 キャリア教育の指導内容で、学級活動の指導の在り方を確認する。										
授業計画【第10回】	学級活動（2）の授業の進め方 学習指導案作成・準備、提出										
授業計画【第11回】	学級活動（2）の模擬授業をしよう①（1, 2班）										

授業計画【第12回】	学級活動（２）の模擬授業をしよう②（３，４班）
授業計画【第13回】	模擬授業の事後研究会 KJ法を活用してみよう
授業計画【第14回】	児童会活動の目標と内容、育てたい資質・能力及び指導例
授業計画【第15回】	学校行事・クラブ活動の目標と内容、育てたい資質・能力及び指導例、まとめ
授業の到達目標	① 学校養育の今日的課題とのかかわりから特別活動の教育的意義・役割を考え、目標と内容及び指導上の留意点を理解する。 ② 教育課程における特別活動の位置づけとその特質を理解する。 ③ 学級活動、児童会活動、学校行事、クラブ活動それぞれについて、学校教育における機能と課題を理解する。 ④ 学級活動の学習指導案を作成することができる。模擬授業を通して学校教員として必要となる特別活動に関する実践的指導力の基礎を習得する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	・小学校学習指導要領解説「特別活動」事前に読んでおく。「1分間スピーチ」の担当の際は事前に発表原稿を作成する。(1時間程度) ・模擬授業、指導案作成時は、必要な教材教具を準備する。
授業時間外学習【復習】	毎時間取り立てて、復習する必要はないが、各自の習熟に合わせて行う。ただ、模擬授業等の活動後は必ず、感想や課題をまとめておく。(1時間程度)
課題に対するフィードバック	・学習指導案(略案)やKJ法についての解説する。 ・最終試験後には試験内容についての解説する。
評価方法・基準	・授業への参加態度：グループ作業、模擬授業・発表におけるパフォーマンス等(30%) ・授業における課題：学習指導案等(2回)の提出(30%) ・定期試験(40%)
テキスト	小学校学習指導要領解説「特別活動編」文部科学省
参考書	授業中にその都度、提示し、資料として配布する。
備考	